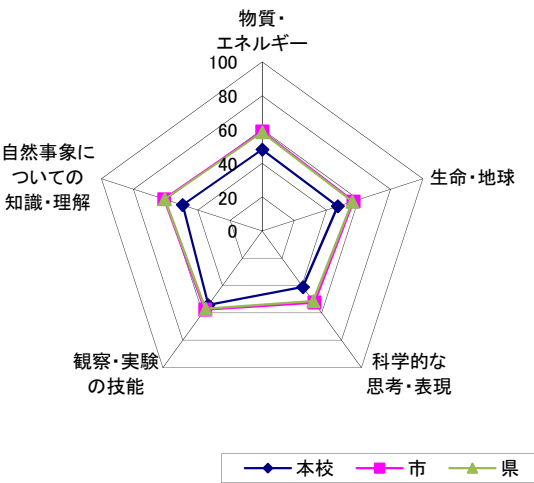


宇都宮市立清原東小学校 第5学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	48.1	59.0	58.3
	生命・地球	47.1	56.8	56.1
観点	科学的な思考・表現	41.1	52.5	51.4
	観察・実験の技能	54.2	57.6	57.0
	自然事象についての知識・理解	49.5	61.0	60.6



★指導の工夫と改善 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	●平均正答率は市平均を下回る。 ●空気や金属を温めたときの体積の増加についての理解が不足している児童が多数見られる。 ●金属の温まり方については、7割強の児童が理解できているものの、県平均と比較すると、2ポイント以上下回っている。	・実験を始めとする体験活動を充実させるとともに、実験後になぜその結果になったのかという原理を理解できるように授業を展開する。
生命・地球	●平均正答率は市平均を下回る。 ○方位磁針の正しい使い方については県平均を7ポイント程度上回る。 ●8割以上の児童が一日の気温の変化を折れ線グラフに表現できたが、県平均を8ポイント以上下回る。 ●人の体のつくりについての平均正答率が低い。	・動画や模型を活用した豊富な観察活動を、授業に取り入れるとともに、繰り返し復習することにより知識の定着を図る。 ・グラフを用いて表したり、変化の特徴を読み取った際には、算数で学習したこととの関連を図るようにする。